



Midori Information



✓ 巻頭言

熊本県農林水産部
農村振興局
農地整備課長
大森 直樹

Information

Topics

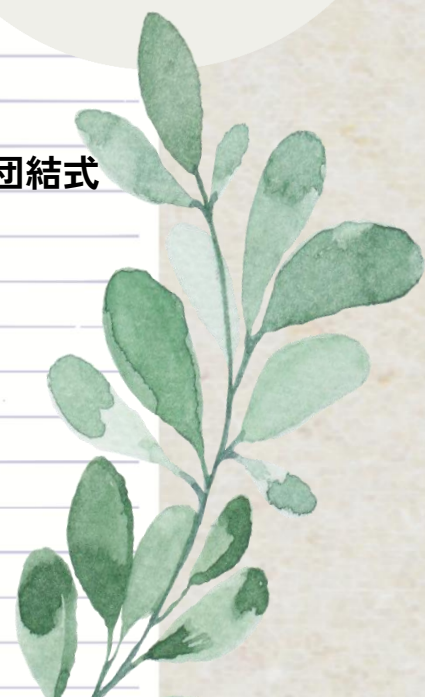
✓ 令和7年8月10日から大雨の状況並びに

本会の対応について

- ☐ 令和7年度8月豪雨災害に係る災害対策室設置式及び団結式
- ☐ 宇城市の4土地改良区が合併
- ☐ 渋滞パートナーシップへの取組

Event

- ✓ 本会 5 Days インターンシップの実施



Since 2013~

「みどり通信」は、熊本県農村振興局や市区町村、水土里ネットなどの職員の皆さんに、農業・農村に関する様々な情報をお届けするものです。

Magazine

- ☐ 「進藤金日子メールマガジン」VOL.99

時代の変化に即した新たな視点を取り入れ、自らの意識を常にアップデートすることが不可欠です。



熊本県農林水産部

農村振興局 農地整備課長

大森 直樹

変えるべきものと守るべきもの

近

年、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。農業人口の減少と高齢化、農地の集約化やスマート農業の導入、気候変動による異常気象の頻発など、現場では従来のやり方だけでは対応しきれない課題が次々と押し寄せています。土地改良事業も例外ではなく、施設の維持管理や機能更新、環境との調和、地域との協働など、求められる役割はますます多様かつ高度になっています。

こうした中で、私たち職員一人ひとりに求められるのは、知識や技術の「更新」です。これまでの経験や慣例は確かに大切な財産です。しかし、それだけに頼ってはいては、変

意

化のスピードに取り残されてしまいます。時代の変化に即した新たな視点を取り入れ、自らの意識を常にアップデートすることが不可欠です。

識のアップデートとは、単に新しい情報を知ることにとどまりません。現場の声に耳を傾け、異なる分野や世代の考え方を学び、既存の枠組みにとらわれずに課題を見つめ直す姿勢そのものです。たとえば、「ICT」や「Z」を活用した水管理の効率化、省エネルギー型ポンプの導入、環境負荷低減のための設計手法など、最新の技術はすでに現場で活躍し始めています。これらを活かすには、技術的知識だけでなく、地域住民や関係機関との合意形成力、計画段階からの柔軟な発想も必要です。

また、意識のアップデートは「守るべきもの」と「変えるべきもの」を見極めることでもあります。土地改良事業は、先人たちが長年築き上げてきた農業基盤を守り、次世代へと受け継ぐ営みです。その根幹となる使命感

私

や公共性は決して変えてはならない。一方で、事業手法や組織の運営、情報共有の方法などは、時代に応じて積極的に見直すべきです。

私たちは、変化の中で新しい価値を創造し、地域の農業と暮らしを支える使命を担っています。そのためにも、日々の業務の中で小さな改善を積み重ね、新しい学びに挑戦し、互いに刺激し合える職場づくりを進めていきたいと思っています。意識をアップデートし続けることが、ひいては土地改良事業の持続可能性を高め、熊本県・農村の未来を明るくする力になると信じています。

今年の秋も、田畑は実りの時を迎えます。その風景を未来に残すために、私自身も常に成長し続けたいと考えています。

2025年9月吉日

熊本県農林水産部 農村振興局

農地整備課長

大森 直樹

【大雨の状況】

10日から11日にかけて、熊本地方、天草・芦北地方を中心に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、10日22時00分に玉名市及び菊池市付近で約110ミリの猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報が発表されました。その後も、熊本市、山鹿市、合志市、玉東町、大津町、長洲町、和水町、美里町、宇城市、甲佐町、八代市、山都町、氷川町、上天草市、天草市付近で、約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報が発表され、県内で甚大な被害が出ました。(熊本地方気象台災害時気象資料より)
本災害は激甚災害指定される見込みです。



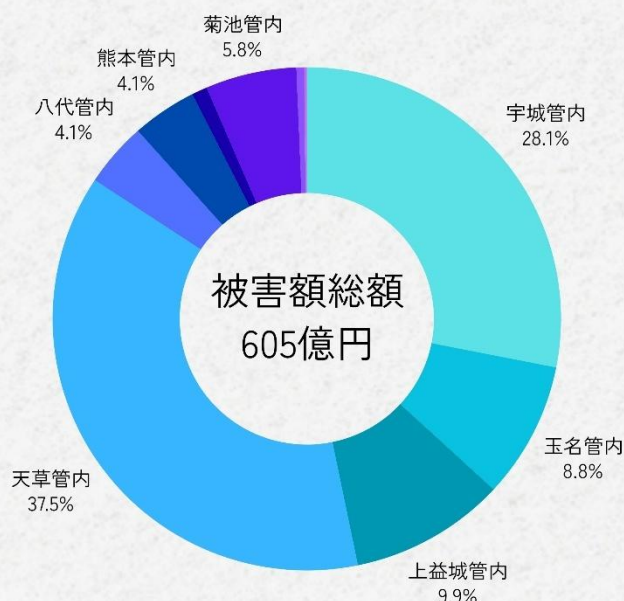
▲熊本市北区改寄町



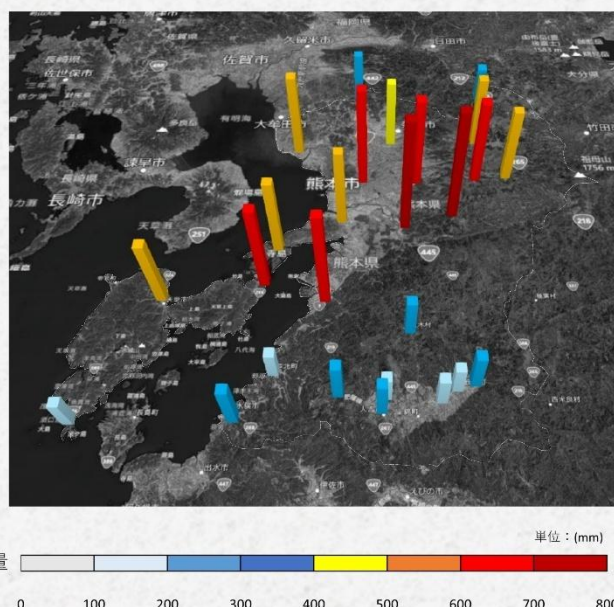
▲玉名市天水町

県内の被害状況（R7.9.16時点）

※直近10年間で、平成28年熊本地震に次ぐ規模の災害



アメダス総降水量



【本会の初動対応】

8.11～

氷川排水機場の現地派遣対応

本会施設管理課では、大雨発生時の初動対応として、県内の排水機場における故障や警告に対し、助言や技術的支援を行いました。

特に氷川排水機場では、3基のうち1基が運転を停止したため、氷川町から本会へ派遣要請があり、本会職員が現地対応にあたりました。



▲氷川排水機場



▲作業中の本会職員

運転停止の原因究明にあたっては、県・町・業者と連携し、技術的支援を行いました。その結果、エンジン内部のギアの破損（欠け）を確認し、この破損によりエンジンが始動しないことが原因であると特定しました。

8.12～

市町村に対する被害状況調査への支援

県内各地において広範囲かつ甚大な被害が発生した本災害に際し、本会農地整備課および各支所において、熊本市をはじめ八代市、長洲町など18市町村において、約300件の被害状況調査を実施しました。

現地調査では、農地等災害復旧事業の対象となる概算工事費40万円以上の被災であるか否かの判定や、被災箇所の把握など、技術的支援を行いました。

また、被災箇所および被災状況については、水土里GISにより一元的に管理し、県や市町村をはじめ関係団体との情報共有を図りました。



▲被災状況

市町村	調査項目	調査結果	備考
熊本市	1. 田んぼの被害状況	100 %	100 %
八代市	2. 田んぼの被害状況	100 %	100 %
長洲町	3. 田んぼの被害状況	100 %	100 %
...	...	...	...
合計	18市町村	100 %	100 %

▲概算工事費算出

8.12～ ため池の被害状況調査

当該豪雨により「特別警戒警報」が発令された市町に所在する防重ため池について、同警報解除後より県及び市町村職員と協働し緊急点検を実施しました。（本会点検実施：天草市、上天草市）

また、本会の経験豊富な技術者（ため池サポートセンター、ため池保全管理技士等）が県内各地の被災状況調査や復旧工法の提案に加え、低水管理など応急対応に関する指導・助言を行いました。



▲被災状況調査

9.8～ 災害対策室の設置及び専従職員配置



本会では、災害業務に特化した専従体制として、本会庁舎3階に「災害対策室」を設置し、段階的に技術職員を増員しました。9月24日時点では約16名を4班体制に分けて配置しています。

現在、県内21市町村から300件を超える査定設計書作成業務の依頼があり、そのうち4市町からは技術職員派遣の要請も受けています。

円滑な災害査定の受検に向け、経験豊富なスタッフが各地で査定設計書の作成を進めており、12月の完了を目指して取り組んでいます。

私たち水土里ネット熊本は、平成24年7月九州北部豪雨、平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨、令和5年梅雨前線豪雨と、立て続けに発生した未曾有の大災害を経験してきました。

これらの教訓を踏まえ、自然災害への備えを万全とするため、日々、測量・設計技術の研鑽に努めるとともに、災害時の支援体制の強化に取り組んでいます。これにより、災害発生直後の初動対応、関係機関との連携、さらには円滑な災害査定の実施を可能にしています。

本格的な復旧・復興はこれからが正念場ですが、水土里ネット熊本は、これまでも、そしてこれからも、市町村や土地改良区にとって欠かすことのできない「災害への備え」としての役割を果たし続けてまいります。

令和7年度8月豪雨災害に係る災害対策室設置式及び団結式

令和7年9月25日（木）に
本会3階会議室で令和7年
度8月豪雨災害に係る災
害対策室設置式及び団結
式が行われました。



災害対策室には9月25日時点で、約16名を4班体制に分けて配置して対策にあたっています。

久保田常務より、連合会はこれまでも限られた人員の中で幾多の困難を克服してきた中で、その経験と実績に自信を持ち、引き続き会員サービスの低下を招くことなく、**災害復旧と日常業務の両立を図っていくこと**。あわせて、職員一人ひとりが心身の健康を保ち、家庭生活との両立にも配慮しつつ、**互いに支え合いながら職務に邁進することが重要であることを述べられました。**



宇城市の4土地改良区が合併

土地改良区合併の経緯

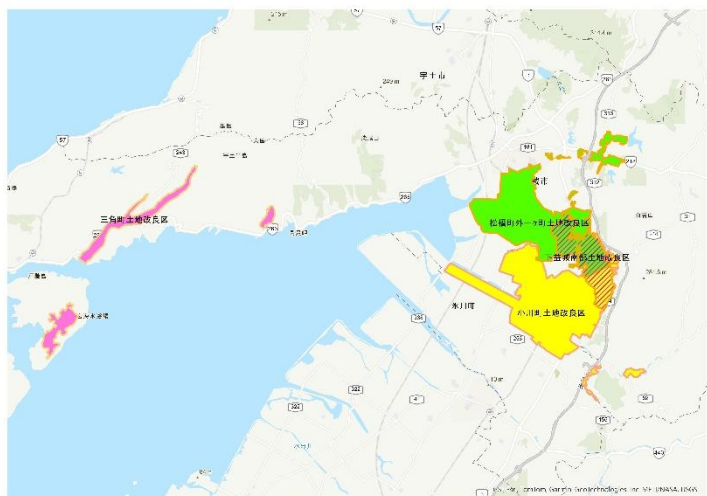
令和7年9月5日（金）、宇城市の4土地改良区（松橋町外ヶ町土地改良区・小川町土地改良区・三角町土地改良区・下益城南部土地改良区）が合併し、新たに誕生した「宇城市土地改良区」の設立総代会が開催されました。

農業従事者の高齢化や後継者不足、農業用施設の老朽化、施設の保安全管理など、農業農村を取り巻く環境は年々厳しくなっており、土地改良区が担う地域営農に対する役割が増大してきました。

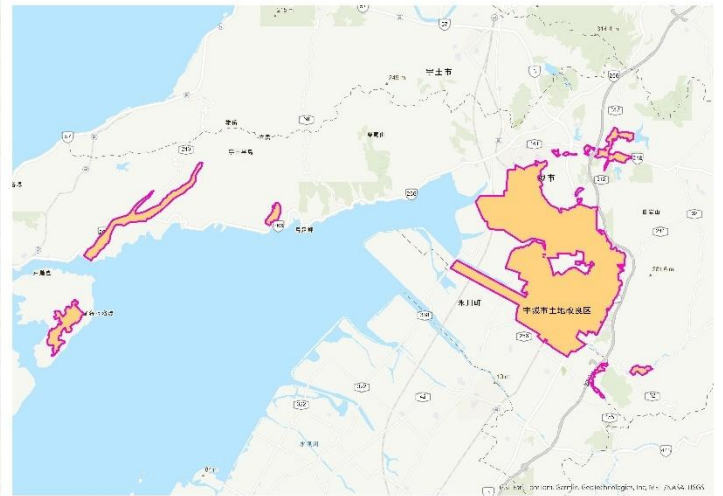


▲設立総代会の様子

このような課題を解決するため、宇城市内を区域とする4土地改良区において、**土地改良施設の適正かつ効率的な維持管理や事務運営、土地改良事業の実施体制の強化を目的とした統合整備**について平成30年から検討を重ね、今回の合併に至りました。



▲合併前



▲合併後

宇城市土地改良区



〒869-0552 熊本県宇城市不知火町高良2273-1宇城市不知火支所内



mnet-uki@aioros.ocn.ne.jp



(0964)-33-1722



熊本県 渋滞対策 パートナー 登録制度

熊本県渋滞対策パートナー 登録証

熊本県渋滞対策パートナーとして登録し、ここに証します。

登録者：熊本県土地改良事業団体連合会

登録番号：第231号

令和7年(2025年)8月29日

熊本県知事 木村 敬



熊本県では、都市圏における交通渋滞の解消を目指し、渋滞緩和に資する取り組みを積極的に実施する地域事業者等を登録する「**熊本渋滞対策パートナー登録制度**」を推進しています。

本会もこの制度に登録し、啓発活動を通じて、職員一人ひとりが**通勤方法の工夫**や**外出時間の調整**に取り組むことを推進してまいります。



熊本県渋滞対策 パートナー宣言

当会では、職員に対して渋滞緩和に資する通勤方法の選択を奨励するとともに、職員一人ひとりの外出時間の調整・工夫等を推進します。

今後も、定期的な啓発活動を通じて、通勤行動の改善に向けた意識づけを継続してまいります。



1. 職員に対して渋滞緩和に資する通勤方法の選択（自転車・徒歩・公共交通利用等）を奨励します。
2. 職員一人ひとりの外出時間の調整・工夫等（「移動時間帯の分散」や「打ち合わせ時間の調整」等）を推進します。
3. 今後も、定期的な啓発活動を通じて、通勤行動の改善に向けた意識づけを継続してまいります。



熊本県土地改良事業団体連合会

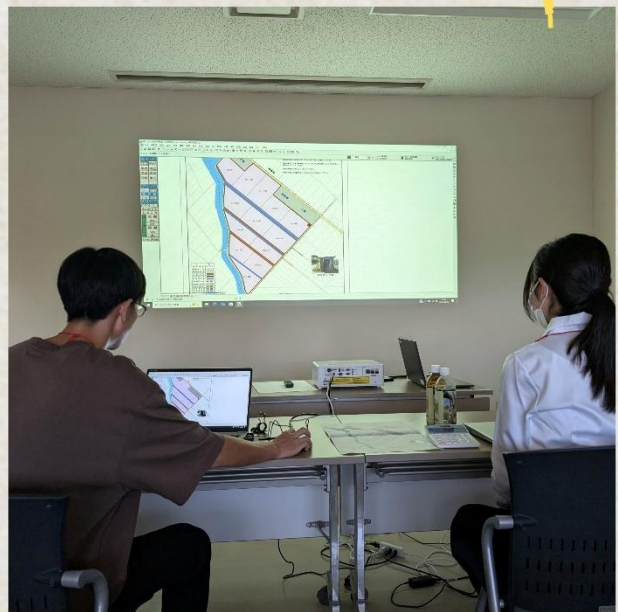
水土里ネット熊本

MIDORINET KUMAMOTO

本会 5 Daysインターンシップの実施

令和7年9月8日から12日にかけて、本会において「5daysインターンシップ」を実施しました。

今回のプログラムでは、業務内容の説明に加え、**実際の現場体験**も取り入れることで、学生の皆さんにより深く本会の業務を理解していただく機会となりました。



前回（8月下旬）は「調査・測量・設計部門」と「換地部門」で実施しましたが、2回目となる今回は「**調査・測量・設計部門**」と「**施設・保管理部門**」の2部門を体験していただきました。

参加した学生からは、
「農業を下支えしている本会の魅力に気づけて良かった」

「生活基盤の安全を守る大切な仕事だと理解できた」

といった声が寄せられ、充実した学びの時間となった様子が見られました。



リンク一覧



- 水土里ネット熊本平野南部
<https://kumamotoheiya.com/>
- 水土里ネット熊本市西南ホームページ
<http://midorinet-km.jp/>
- 水土里ネット小川フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/小川町土地改良区水土里ネット-おがわ-979064688835896/>
- 水土里ネット美里ホームページ
<http://misato-midori.net/>
- 水土里ネット玉名平野ホームページ
<http://www.tamana-heiya.jp/>
- 水土里ネットおおきくホームページ
<http://ookiku.jp/>

県内水土里ネットホームページ、ブログ、フェイスブック一覧や最新のブログ等の更新状況をご紹介します。



- 水土里ネット一の宮ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~itidokai/top.html>
- 水土里ネット阿蘇ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~aso-toti/>
- 水土里ネット八代平野北部ホームページ
<http://yatsushiro-heiya.jp/>
- 水土里ネット百太郎溝フェイスブックページ
水土里ネット百太郎溝（百太郎溝土地改良区） | Yamae-mura Kuma-gun Kumamoto | Facebook
- 水土里ネット幸野溝ホームページ
<http://www.kounomizo.jp/>



その他

「みどり通信」で紹介してほしい
イベントやホームページ、ブログ
などがあれば、ぜひ本会まで気軽
にご連絡ください。
配信先のメールアドレス変更等
は、下記まで宜しくお願いします。

水土里名町熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
総務企画課 企画広報係
豊住 菜奈 (とよずみ まな)

Tel : 096-348-8801

Fax : 096-348-8011

Mail : toyozeni-ma@higosanae.or.jp

HP : <https://www.higosanae.or.jp>

HPの2次元コードはこちら



Snap Shot

